

報 法 人 会 豊 島 法 人 会 報

昭和51年1月10日

新年号

(No. 2)

年頭のごあいさつ

会長 堤 清 二

新年おめでとうございます。

昨年は豊島法人会にとって、まことに意義深い年であり、皆様の大変な努力が結実して、永年の念願であった社団法人化が達成されました。しかも都内で最大の会員を擁する法人会の誕生でありました。そして今年はその新生豊島法人会を迎える、まことに重要な第一年目であります。

私は昨年のお祝いの際にも申し上げた事ですが、この様な団体はつくりあげる迄の苦勞は大変なものでありますが、それにもまして大事なものは、できあがってから良い内容の活動を息永くつづけていく事であります。

さて経済界の動きをみますと、我國の経済は今迄の経験とは全く異なる不況に直面して、すべての法人が夫々の構造の根本的な改造に苦勞をしている時であります。本年不況は少しづつ恢復するといわれていますが、その恢復の仕方は今迄の様なものではない事が指摘されています。

その様な中で、本会の会員の方々も新しい経営のあり方を探り乍ら進んでいこうとしている年であります。

今年その様な重大な時に、豊島法人会がしっかりと存在しているという事は、まことに意義深くタイムリーであったと思えますが、その大切な時にこの法人会が今年何をするか、どんなサービスを会員の皆さんにできるかという事こそ、今年の大きな課題であると思えます。

署の幹部の方々の御指導をえて、たよりになる法人会に今年、しっかりと歩んでいきたいと考えます。

おわりに皆様にとって今年がよい年でありませう、祈念して御挨拶と致します。

新年にあたって

豊島税務署長 日向 堅 二

明けましておめでとうございます。

昭和五十一年の新春を迎えるにあたり、社団法人豊島法人会の会員の皆様からお慶びを申し上げます。

税務の運営につきましては、皆様方の深い御理解と暖かい御協力をいただき、円滑に推進することができました。厚く御礼申し上げます。

貴会におかれましては、昨年五月、多年の念願であった法人会社団化の一大事業を達成され、引き続き組織を拡充強化することにも活発な事業活動を展開されております。会役員の方々をはじめ会員の皆様の絶ゆまぬ御努力に深く敬意を表するものであります。顧みますと、昨年は一昨年の初頭以来の狂乱物価の安定をめざした総需要抑制を基調とした諸施策の結果、急騰物価もようやく鎮静化の傾向がみられてはきたものの、反面景気は沈滞し、暗い長いトンネルに例えられる昨今の経済状況であります。一方抑制基調の中にあつて、どのようにしてこれ以上深刻な不況を招来することなく、安定成長路線にのせるかという極めて困難な課題にも直面しています。

このように、経済的にも社会的にも誠に難しい局面を迎えておりますが、税務に携わる私どもといたしましては、このような際にごそ国の財政を担う税務行政の役割の重要さを自覚し、国民全体に税を正しく知ってもらい、適正課税の実現のため、より一層の努力を傾注する所存であります。

そのためには、何よりも皆様の相変りませぬ御理解と御協力なくしては、到底成し得ません。本年も倍旧の御協力を御願い申し上げます。

終りに、貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝ならびに企業の御隆盛を祈りつつ年頭の御挨拶を申し上げます。

新年にあたりて

副会長 今井 剛

新たなる社団法人豊島法人会の結成をみました一九七五年を送り、ここに一九七六年の新春を迎えました事を皆様と共に喜び合いたいと思います。

巷間で色々と取沙汰されており、又我が身にも感じていますが誠に厳しき世情での新年であり、今後予断をゆるさない情勢であります。すでに幾多の大企業においても新入社員の採用中止或いは賃金のカット等悪材料が出揃っておりあります。

又世界的に見ましても、此の前の石油ショックの様な事件が何時おこるかかわらない様な状況下であり、もし此様な事がおこれば我が国の経済は壊滅的な打撃を受け、当然私も中小企業者も死命を制せられる様になりかねません。かかる事態に対処して生き残るためには、私も企業体質強化が先決であり、又その為の税の問題は忽せに出来ない問題であると考えます。

昭和初期の不況、又戦後の混乱期を闘いぬぎ、現在の如き企業を造り上げて来られた実力をおもちの皆様でありますので、この位の事でおどろく方はないと存じますが、今後益々増大すると思われまます不況の荒波をのりこえて共に喜び合い、来る年、来る年を心より喜んで迎えられるように助け合って行きたいと思ひます。

都内でも有数の会員数を有する当法人会ではありますが、更に一層会員の増強に力を尽し、名実備った法人会に発展させて行きたいと決意しております。

新年の初頭に当り決意の一端を披露して新年のご挨拶といたします。

◎ 税についてのご相談は

申告指導官へ

どうか、会員の多くの方がお気軽にご相談されることをおすすめます。

▽お問合せ電話番号 九八四―二一七―
内線 三一―三二二

▽指導官(敬称略)

- 中垣 忠 司(上席)
- 山本 好(源泉)
- 溝越 信 行
- 保科 正 人
- 以上四人

◎ 十一月決算申告書 提出をお忘れなく

提出期限が一月末でありますので期限内に提出されるようお願い致します。

尚、決算法人説明会が一月十九日(月)に翌の地下会議室で行われますので、提出の前には是非参加をされて万全を期されるようお願い致します。

活発に動き出した事業活動

昨年五月社団化して公益法人として、新らしき出発をした当法人会も、講習会、支部懇談会、決算説明会、新設法人説明会等々、多彩な活動を展開し、内外の注目を浴びてい

す。其の主なものを書記しますと次の通りです。

大好評の講習会

最初の試みとして、十月二十一日より開始された源泉所得税の「基礎コース講座」と「実務コース講座」は、何れも毎回満員の活況を呈しています。ユーモア



(開講式での篠崎副署長あいさつ)

をまじえた西山講師の講義、即実務に役立つ実例を基にした山本講師の講義、何れも受講者の期待にこたえ、仲々の好評であります。月二回の夫々の其の講義



(開講式に参加した受講者)

も早三カ月を消化し、愈々後半に移るころになります。受講者の最後迄の研鑽を期待します。

活況を呈している 支部懇談会

十一月一日東池袋二丁目支部を皮切りに開始された支部懇談会は、どの地区で

も大成果をおさめ活況を呈しています。参加者の誰しもが其の意義と成果を高く評価しているようです。とかく税金といえは敬遠しがちで、売上対策とか、資金対策とか、当面の利益をあげることにのみ夢中になり、税金対策は二の次というのが一般的な傾向でありました。其れが支部懇談会に参加して、署の副署長統括官、指導官の方々のカミシモをぬいで、エネルギーに説く税に関する総合的な話、節税に関する具体的な方策等を聞いて、税を知ることが、もっと高い次元から会社の利益に通ずるのだという論理に気づいた方々が相当多かったように見受けられます。

説明のあとの質疑応答にも活発な質問が続出し、誠に充実した効果的な会合でした。

申告指導官は、法人税・源泉税・所得税関係の質疑の回答、法人税申告の指導にあたるとともに、法人会が行う説明会講習会、研修会等の講師となり、また法人会事業活動への積極的な支援と協力などが主な事務となっております。

中垣指導上席は、各説明会等で、指導官の仕事は皆さまの申告上のミスや、税務会計上の誤りについて指導するという事ではなく、皆さま方がお知りになりたい税法、通達の取扱いや、税務会計上の処理、節税についてのご相談に必ず応ずるのが本来の仕事であり、そのためには是非事前にご相談していただきたいと強調されていきます。

現に、会員の中から事前に相談したため、一定の手続方法を教えてもらい、節税に役立つとか、誤まりの処理に気が付き、正しい申告をすることができたという話が事務局にも入ってきています。

決算説明会

毎月一回、税務署の地下会議室で行われている当法人会主催の決算説明会も、毎回多数の受講者が参加し、効果的な行事として喜ばれています。

決算といえは、会社の一年間の総決算のしめくくりでもあり、其の書類の作成には、並々ならぬ苦勞が伴うものであります。其だけに参加する人々の表情にも真剣さがうかがわれます。

十月度の決算説明会は昨年末の十二月四日に行われました。スライドの映写に始まり、(社)豊島法人会税制委員長、野

盛況裡に終わった 年末調整説明会

豊島税務署、(社)豊島法人会、税理士会豊島支部、豊島区役所の共催による年末調整説明会は、ストの為交通麻痺という悪条件の中で十一月二十六日(豊島公会堂)十一月二十七日(三菱銀行大塚支店・三階会議室)十一月二十八日(三菱銀行大塚支店・三階会議室)十二月三日(豊島公会堂)の四日間わたり挙行されましたが、何れも多数の熱心な受講者の参加により盛況裡に終わりました。

説明会は最初税務署長(又は副署長)(社)豊島法人会会長代行、税理士会豊島支部長の順序でありましたが、其のあと視聴覚に訴えて受講者の脳裏にきざみこむ方式の、年末調整に関するスライドの映写があり、つづいて説明会の本論に入りました。表題と講師は次の通りです。

◎源泉所得税の年末調整について

昭和50年10月～12月 主な事業活動実績表

Table with 4 columns: Date, Activity Name, Date, Activity Name. Lists various events like branch meetings, seminars, and tax seminars from October to December.

説明会におけるアンケートの結果

(50.12. 現在)

Table with 3 columns: Survey Item, Existing Companies, New Companies. Details survey results regarding attendance, frequency, timing, and future expectations for seminars.

新設法人の説明会

毎月税務署・(社)豊島法人会・税理士会豊島支部の共催による新設法人の説明会が署の地下会議室に於いて行われています。

去る十二月十二日には、昭和五十一年の最後の説明会が行われましたが、年末を反映して参加者は少ないでした。然し参加した方々は新設の法人として、今後の税務の知識を吸収しようと真剣そのものでした。

いつもの通りスライドの映写に始まり篠崎副署長のあいさつ、(社)豊島法人会真々部副会長のあいさつ、税理士会所属の税理士の方のあいさつがあり、其のあと中垣上席官の講師紹介ののち説明会に入りました。講師の溝越指導官は新設会社の基本的なことにふれ、特に正しい記録とレシートの大事なことを強調、最後に税金は企業精神の結果としてかかるものだと結びました。つづいて毎月会社経営に大事な源泉所得税のポイントについて山本講師が一時にわたり力説して説明会は終了しました。

西山講師(豊島税務署第二部門 統括官)
◎法定調書の提出について
鈴木講師(豊島税務署所得税第一部門 上席官)
◎給与支払報告書の提出について
高橋講師(豊島区役所課税課)

新春放談

(連載)

法人会はどのようなことを行う団体か

対談者

- List of participants: 今井副会長 (A支部長), 丸山副会長 (B支部長), 高村副会長 (C支部長), 田村副会長 (D支部長), 永田副会長 (E支部長), 真々部副会長 (司会 事務局長)

『司会』
明けまして御目出度うございます。(社)豊島法人会も誕生して二年目の年を迎え、愈々今年も飛躍の年になるかと思いますが、しかし、まだまだ会員の中には、法人会がわからず、とやかくいわれる方もあるように見受けられますので、今日は「法人会」というのはどのようなことを行う団体か」ということを中心に、ざっくりと簡単に話合せて戴こうと思ひ、新年早々御多忙の処を副会長長さんや、活躍して下さっている支部長さんの一部の方に代表として集って戴きました。

『A支部長』
最初に色々と会員に接した深い支部長さんの体験からお話願った方が宜しいのではないかと思いますので、A支部長さんから御発言をお願い致します。

『B支部長』
Aさんのお話のとおりです。それにしても、本会の存在がかくまで一般の納税者の方々に知られていないのは残念です。『司会』
それでは豊島法人会の存在が余り知られていないこととありますので、豊島法人会の創設以来今日の歴史的経緯に明るい今井副会長に、豊島法人会の今迄の流れや、位置づけ等についてお話し願ったらと思ひますが。

『今井副会長』

一昨年秋頃支部長委嘱の依頼があり家内と相談の上、お引き受けすることにしてしまったのですが、胸中では、えらいことになったものだとの気持ちで一杯でした。(一同大笑い)

ところで、手はじめに近所を戸別訪問して入会勧奨を行って見ますと「法人会の存在が全く知られていない」と「過去に入会してみたが、入会したことによる利益がないので脱会した方」など、之までの本会における基本的な間接点が浸透していなかったことなど、イヤという程骨身にこたえたにがい思ひ出になって居ります。

『B支部長』
Aさんのお話のとおりです。それにしても、本会の存在がかくまで一般の納税者の方々に知られていないのは残念です。『司会』
それでは豊島法人会の存在が余り知られていないこととありますので、豊島法人会の創設以来今日の歴史的経緯に明るい今井副会長に、豊島法人会の今迄の流れや、位置づけ等についてお話し願ったらと思ひますが。

『今井副会長』

そうですね、豊島法人会も社団化されたのは、他の法人会におくれをとりましたけれども、会員数では全国でも五指の中には入るし、現在有力な団体として他の法人会でも一目置いているのではないのでしょうか。

戦後申告納税制度に移行しましたのが、昭和二十四年でありましたから、本会はその翌年の青色申告納税制度の創設と機を同じくして結成されたものと記憶しております。
結成の当初は区内を四つに分けた地区単位の会でありましたが、今からちょうど十年前に一つに合併して現在の法人会へと発展したわけですね。
話しは外れますが、東京に端を発した法人は野火のような勢いで全国の各地区の法人会の誕生となり、それから二十有年経過した今日では、全国の法人の四〇%弱で、件数では五十一万の会員が私どもと考えを同じくする法人として我が国の今日の隆盛を裏づける申告納税制度の推進の為に多大の貢献をしてきたものと自負しています。

『各支部長』
良くわかりました。私どもの所属する本会が全国でも有数の法人会であり名門であることがわかり、今後の使命と役割の重要性を思うと身のひきしまる思いです。又全国的には同じ考えを持つ友人が五十一万人もいるということには心強い限りです。

(つづく)

謹賀新年

昨年中は格別の御厚情を賜わり有難く御礼申し上げます
尚本年も相変らず御指導御鞭撻の程御願ひ申し上げます

昭和五十一年一月一日

事務局長	他役員	真々部	永田	高村	田村	丸山	副会長	今井	堤清	会長
一同	一同	真光	宗一	与作	健次	愛吉		剛	二	

51年1月以降行事予定

(日)	(時)	(行 事)	(場 所)
1. 13	14:00 ~ 16:00	理 事 会	署 地 下 会 議 室
1. 16	13:30 ~ 16:00	地域別支部懇談会 (巢鴨)	花 山 工 務 店
1. 19	13:30 ~ 16:00	決算法人会説明会	署 地 下 会 議 室
1. 20	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会 (基礎)	池 袋 / 三 用 池
1. 21	13:00 ~ 15:30	地域別支部懇談会 (巢鴨)	署 地 下 会 議 室
1. 22	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会 (実務)	池 袋 / 三 用 池
1. 23	13:30 ~ 16:30	地域別支部懇談会 (巢鴨)	署 地 下 会 議 室
1. 27	13:30 ~ 16:00	新設法人説明会	署 地 下 会 議 室
2. 3	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会 (基礎)	署 地 下 会 議 室
2. 6	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会 (実務)	三 菱 / 池 袋
2. 10	13:30 ~ 16:00	決算法人説明会	署 地 下 会 議 室
2. 12	13:00 ~ 16:00	幹 部 会	署 地 下 会 議 室
2. 13	13:30 ~ 16:00	新設法人説明会	署 地 下 会 議 室
2. 17	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会 (基礎)	署 地 下 会 議 室
2. 19	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会 (実務)	署 地 下 会 議 室
3. 2	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会 (基礎)	署 地 下 会 議 室
3. 4	13:30 ~ 16:00	決算法人説明会	署 地 下 会 議 室
3. 5	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会 (実務)	署 地 下 会 議 室
3. 8	13:30 ~ 16:00	新設法人説明会	署 地 下 会 議 室
3. 11	13:00 ~ 16:00	理 事 会	署 地 下 会 議 室
3. 16	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会修了式 (基礎)	署 地 下 会 議 室
3. 18	13:30 ~ 15:30	源泉所得税講習会修了式 (実務)	署 地 下 会 議 室

あと二日が過ぎ

会報の新年号を会員の皆様のおてもとにお送り致します。内容は充分とはいえませんが、段々と内容の充実を期してゆき度いと思ひます。発行もしばらくは二ヶ月に一回の予定ですが、近き将来毎月の発行にふみきり度いと思ひます。

尚会報は会員の皆様の会報にしてゆき度いと思ひますので、奮って御寄稿下さるようお願い致します。

最後に編集に当り色々御協力を賜った署の方々に紙上を借りて厚く御礼申し上げます。

◎事務局より◎

支部懇談会の未だ開催されていない処は、事務局と打ち合せの上日程をおきめ下さるようお願い致します。

尚一月開催の所は上記の通りですので多数の方の参加をお願い致します。

発行 社団 豊島法人会

豊島区南池袋二の九の十六
電話(03)九八五・八九四〇
九八一・〇〇三四

発行人 堤 清

編集人 廣 業 委 員 会

印刷所 星光印刷株式会社